



新型コロナウイルス感染症に関する理事長メッセージ

日ごろから、長野県長寿社会開発センターの活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が本県でも拡大しています。罹患された皆様やご家族の皆様に心からお見舞い申し上げます。

ご案内のとおり、当長野県長寿社会開発センターは「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を目標に、人づくりとしてのシニア大学の開催や、意識づくり・仲間づくりとしての賛助会活動の拡大に取り組んでおります。新型コロナウイルス感染症は、県民の皆様の日常生活や企業の経済活動など、社会全体に様々な影響を与えております。当センターの事業につきましても、感染拡大を防止するため、シニア大学を今年度一年間休校することといたしました。また、シニア活動の推進母体としての賛助会員グループ活動も自粛を余儀なくされているところです。向学心に富み、意欲あるシニア世代の皆様の学びやさまざまな社会活動の機会を休止せざるを得ないことは、私としても断腸の思いです。

当センターとしては、通常業務を縮小せざるを得ない今年度を、「新型コロナウイルス」後に向けた、新たなかたちのシニアの学びやつながりづくりを考える機会と捉え、各種取り組みを行って参りたいと思っております。例えば、シニア大学については、シニア世代の社会的役割を踏まえたカリキュラムの充実を、賛助会についてはより魅力あるグループ活動のあり方や会員の拡大などについて検討したいと考えています。

また、関係する機関の皆様との連携により、オンラインによる学びやコミュニケーションの場づくりについても検討いたします。

引き続き、当センターでは、県の「人生二毛作社会」づくりの理念と協調した事業展開を図り、誰にでも居場所と出番がある長寿社会の実現を推進してまいります。県民の皆様におかれましても、センター事業にご理解をいただき、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く終息し、希望に満ちた日常が戻ることで、県民の皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

令和2年5月1日

長野県長寿社会開発センター
理事長 内山二郎